

全木連時報

5月25日(月曜日)

(第614号)(毎月25日発行)

平成21年(2009年)

発行所

社団法人 全国木材組合連合会

編集兼 尾 蘭 春 雄

東京都千代田区永田町2-4-3 ☎(3580)3215

URL http://www.zenmoku.jp

定価 年500円

『全木連時報』の購読料は年会費に含まれています。



木材産業シンボルマーク

昭和33年12月15日第三種郵便物認可

全木連・全木協連・木退共通常総会開く

所定議案を承認・決定 並木会長、大型補正の早期決定に期待感



おめでとーございます

栄えの叙勲・褒章(21年春)

- 旭日双光章 今泉正男(静岡)
- 旭日双光章 枝園 仁(香川)
- 旭日双光章 角田 巖(群馬)
- 旭日双光章 平田周次(神奈川)
- 旭日双光章 高橋典男(岐阜)
- 黄綬褒章 小澤吉夫(静岡)
- 黄綬褒章 荒尾 哲(大阪)
- 黄綬褒章 早田穎司(和歌山)
- 黄綬褒章 松島弘輔(徳島)
- 黄綬褒章 黄綬褒章 黄綬褒章

木材振興関係のみ掲載、敬称略

第六十六回全木連通常総会、第四十九回全木協連通常総会、第三十七回木退共通常総会が五月十二日に東京・港区の虎ノ門パストラルで開催された。当日は全国から会員多数が出席したほか、来賓として林野庁から内藤邦男長官をはじめとする関係幹部、越海興一国土交通省木造住宅振興室長、農林水産省、林業関係団体幹部が出席した。全木連総会の冒頭、並木会長は平成二十一年度補正予算案について「木材利用推進のための対策が大きく取り上げられた」と評価「一刻も早い成立を望みたい」と早期成立への期待を表明した。議事では各会とも所定の議案を審議の上、原案通り承認・決定した。

全木連通常総会

全木連総会は午後二時に開会。会議に先立って尾蘭副会長が今春の叙勲・褒章受章者(別掲)を報告、出席者全員が拍手で受章を称えた。

開会の言葉を田中副会長が述べたに続き、挨拶に立った並木会長は「林材業界の経営環境はかつてない厳しい状況だ」と強い危機感を示し、二十一年度補正予算について「われわれは何よりも木材利用対策とセーフティネット対策が重要だと訴えてきた」と強調。それら諸施策が盛り込まれた補正予算案が決定されたことに対して謝意を示すとともに、早期成立・実施に向けて強い期待感を示した(挨拶の全文は別掲)。

一方、内藤長官は来賓挨拶の中で、二十一年度補正予算の概要を紹介したほか、大手ハウスメーカーなどの間でも国産材利用の機運

目次

- 一面 全木連・全木協連・木退共通常総会を開催し所定議案を承認・決定
- 二面 林野庁長官祝辞要旨
- 三面 全木連会長挨拶
- 四面 全木協連総会 景況調査

日ごろから森林・林業行政へ多大なご協力をいただき、感謝申し上げます。



内藤邦男林野庁長官来賓祝辞

(要旨)

が高まっていることを指摘し、「一定品質の材を安定供給すれば必ず売れる」「けっして縮小均衡に走るのではなく、むしろマーケットを取っていくんだというつもりで頑張ってほしい」などと呼びかけた(挨拶要旨は別掲)。
議事は並木会長が議長となつて進行。第一号議案・平成二十年度事業報告承認の件については、事務局から説明の上、原案通り承認。第二号議案・平成二十年度収支決

算承認の件についても、事務局説明、細田監事による監査報告を経て、原案通り承認された。

第3号議案の役員補充については、監事の細田安治氏(日集協)にかわり、竹内福治氏(全天連)が監事に選任された。

最後に今年の第四十四回木材産業振興大会が十月に東京都で開催される事が報告され、鈴木副会長が閉会の言葉を述べて閉会した。

昨今の経済情勢は非常に厳しく、輸出が振るわない中で内需に期待が高まっています。住宅産業は一国の経済を十分牽引できる裾野の広い産業です。国交省では史上最高の住宅減税を実施し、手元資金がなくてもローンを組めるような融資制度にも踏み切っています。今後は金融機関の融資態度も変わることが期待され、必ず住宅に関心が集まって日本経済を引っ張る力が働くと思っています。
現在、住宅メーカーの間で、国産材の利用をセールスポイントにする動きが広まっていて、一定の品質で安定供給しさえすれば確実に売れる環境になっていきます。需要が減退しているからと縮小均衡に走るのではなく、どんどん売っ

木退共通常総会

木退共の総会は全木連総会と並行して行われた。議事では、①平成二十年度事業報告承認の件②平成二十年度収支決算承認の件——については、事務局説明、山口監事による監査報告を経て原案通り承認。③平成二十一年度事業計画決定の件については、事務局から説明の上、原案通り決定。④平成二十一年度収支予算決定の件⑤平成二十一年度入会金及び会費決定の件——についても、事務局から

ていこうという考え方に立ってほしいと思います。
林野庁では「日本の木の家情報ナビ」というサイトを立ち上げ、地域材を使った家を供給している工務店の情報や、実際に建てる際にはどのような金融上の優遇措置があるかがワンストップで検索できるようにしました。現在、四百を超える登録があり、これらからどんどん増やしたいと考えています。長期優良住宅の供給促進に関する法制度も整備されていますし、そのような流れに乗って商機をつくり、木材のマーケットを大きくしてほしいと思います。その際には中小工場でも連携して安定した品質の材を出せるようにすることに需要拡大については、今年度の

説明の上、原案通り決定した。

また、役員補充があり、次のとおり決定した(カッコ内は前任者所属。敬称略)。
理事〓松原正和
(小笠原弘・北海道)

理事〓朝田宗弘
(小松吉昭・福島)

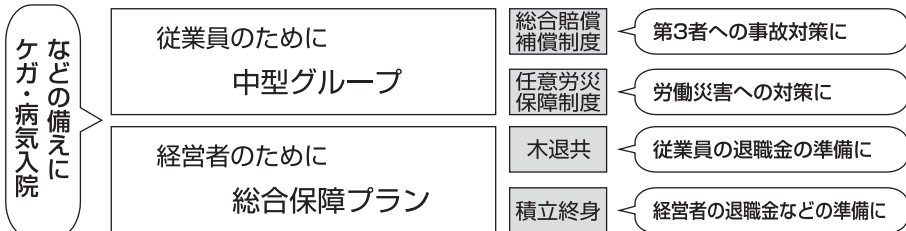
理事〓山田幸志
(小池善英・富山)

理事〓黄瀬稔
(辻本林義・三重)

補正予算の中で、間伐材利用のための流通費用を助成したり、武道具場など公共施設を建設する際の地域材利用を助成したりという施策を盛り込んでいます。このほか、間伐材を燃料として利用する際の支援も行うことにしています。これらについては、都道府県に基金をつくって実施してもらうことになつているので、ぜひそれぞれの自治体に早期対応を働きかけていただきたいとおもいます。
厳しい状況ではありますが、けっして縮小均衡に走るのではなく、マーケットをむしろ取っていくんだというつもりで頑張ってください。私たちもそういう動きを支援していきたいと思っていますので、ぜひ活用してください。本日はありがとうございました。

企業経営に安心を提供します 全木連グループの各種保障制度

おかげさまで30年 中型グループ



全国木材協同組合連合会
〒100-0014 東京都千代田区永田町2-4-3
TEL 03-3580-3215(代)

総会での並木会長挨拶 経済対策の諸施策による 業況改善に期待

社団法人全国木材組合連合会 会 長 並 木 瑛 夫



省の越海木造住宅振興室長はじめ
ご来賓の皆様には、ご多用の中ご
臨席を賜り厚くお礼申し上げます。
さて、わが国の経済動向は、世
界的な金融危機による景気後退が
深刻な状況にあります。新設住宅
の着工戸数は、平成二十一年にな
ってからも更に停滞を続け、年率
ペースで平成二十年実績を大幅に
下回ると予想されており、まさに
木材産業の経営環境はかつてない
厳しさに直面し、業界の先行きが
大変に心配されているところであ
ります。

度の実等セーフティネット対策、
原料転換や中小工場連携等促進の
ための木材産業総合対策などが実
現し、また、税制改正では大幅な
住宅減税対策の実現や「カーボン
ストック減税」の具体化に向けて
の道筋が開ける見通しとなったと
ころであります。

また、この四月二十七日には、
経済危機対策として総額十五兆円
の二十一年度補正予算案が決定さ
れました。このうち森林・林業・
木材産業関連予算額は約二千五百
三十七億円に及んでいます。全木
連としては、この対策においては
何よりも木材需要対策、セーフテ
ィネット対策が重要であると各方
面においてお願いしてきたところで
あります。のち程、内藤長官などか
らお話もあろうかと思いますが、住
宅や公共施設、その他施設等への
木材利用推進のため住宅展示や公
共施設等への地域材利用の支援な
ど画期的な対策、中小企業の緊急
保証枠の拡大や農林漁業信用基金
の新たな保証対策などセーフティ
ネット対策が盛り込まれています。

林野庁長官をはじめ関係政府機関
・政党の皆様方の多大なご尽力に
感謝を申し上げます。
これらの諸施策の実施を通じて
木材業界の業況改善が図られるこ
とを強く念願していますが、その
ためにも特に二十一年度補正予算
の一刻も早い実現を強く要請する
次第であります。同時に、全国の
各地域において我々業界自身によ
る予算の有効活用に向けた取組み
をしっかりと行っていくことが重
要であると考えています。
木材、とりわけ地域材の利用推
進につきましては、この三月には
多くの都道府県木連の参加の下に
地域材の家づくりに関する木材、
建築知識などの情報をワンストッ
プでサービス提供する体制整備が
開始され、また昨年十二月に成立
した「長期優良住宅の普及促進に
関する法律」にあつては国産材の
利用推進に配慮すると明確化され、
関連する予算措置で地域材利用の
取組みが数多く進められる、など
住宅建築における地域材利用の新
たな取組みが展開されてきていま
す。また、国会においては議員立
法による木材利用の促進に関する
法制度の創設検討も進められてお
ります。産官学が連携して「木の
まち・木のいえ推進フォーラム」
が設立され、住宅・建築物への木
材利用の一層の促進に向けた新た
な活動が開始されています。

昨年秋に、開催した「全国木材
産業振興大会」において、「新たな
木材利用への挑戦で木材産業の再
興」というスローガンの下に「宣
言決議」や「緊急特別決議」を採
択しました。これを受けて全木連
は会員とともに政府の経済対策に
木材産業の業況改善につながる対
策が盛り込まれるよう関係各方面
に働きかけを行いました。その結
果、平成二十年度の二次にわたる
補正予算や平成二十一年度予算に
おいて、住宅・公共施設への木材
利用推進対策、中小企業信用保証
制度及び林業・木材産業の保証制

我々木材業界はこのような諸対
策等の枠組み、動きを前広かつ主
体的に取り組み「新たな木材利用」
につなげていくことが大切なこと
であると思います。併せて、消費
者・需要者重視の木材供給・加工
体制の整備、とりわけ品質性能、
合法性の証明された木材製品、J
AS製品、乾燥材の供給体制を整
えていくことが緊要の課題であり
ます。全木連としまして、この
ような諸対策の推進に取組んでい

く考えであります。
違法伐採に対する取組みは、マ
ーケットにおいて合法木材の一層
の理解促進と実需拡大、信頼性の
ある合法木材供給体制整備の着実
な進化に向けた取組みを一層進め
て参る考えであります。全木連の
JAS関係業務につきましては、
この三月からは全国木材検査・研
究協会に全面的に移行しました。
全木連の検査事業に長い間ご協力
・ご理解をいただきました皆様方
には感謝とお礼を申し上げます次
第であります。

木退共につきましては、加入者
の減少が続いています。このまま
では制度の維持に影響がかねま
せん。なにとぞ皆様のご協力をい
ただき、是非とも加入者獲得をお
願いする次第であります。
本日の会議は、平成二十年度の
事業報告及びその収支決算が主た
る議題であります。限られた時間
ではあります、十分なるご審議
をお願いいたします。
最後に、春の叙勲の栄に浴され
た木材業界の方々に於かれまして
は、日頃のご精進とご努力の賜物
と心からお喜び申し上げますと
もに、今後一層のご活躍をご祈念
申し上げます。
さらに、会員各位のご繁栄とお
集まりの皆様のご健勝をご祈念申
し上げ、冒頭のご挨拶と致します。
有難うございました。

会議の開会に当たり、一言ご挨拶
を申し上げます。

第六十六回全木連通常総会・理
事会並びに第三十七回木退共総会
を開催いたしましたところ、皆様
方には全国各地からご参集いただ
き誠に有難うございます。また、
日頃から幅広くご指導いただい
ています内藤林野庁長官、国土交通

全木協連通常総会

景況調査＝全木協

21年4月分集計表 ()内は実数

モニター数97 回答数67 回収率69%

〔流通部門〕

当月の状況

販売量	増加31% (21)	変わらず41% (27)	減少28% (19)
仕入量	増加26% (17)	変わらず37% (25)	減少37% (25)
販売価格	上昇 0% (0)	変わらず70% (47)	下降30% (20)
仕入価格	上昇 1% (1)	変わらず69% (46)	下降30% (20)

来月の見通し

販売量	増加30% (20)	変わらず54% (36)	減少16% (11)
仕入量	増加21% (14)	変わらず55% (36)	減少24% (16)
販売価格	上昇 3% (2)	変わらず91% (61)	下降 6% (4)
仕入価格	上昇 5% (3)	変わらず84% (56)	下降11% (7)

3か月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米材	4% (2)	73% (39)	23% (12)
南洋材	0% (0)	85% (41)	15% (7)
北洋材	14% (7)	52% (26)	34% (17)
国産材	4% (2)	71% (41)	25% (14)
建材	6% (3)	77% (36)	17% (8)

乾燥材取引の頻度	増加 25% (15)	変わらず 73% (45)	減少 2% (1)
----------	----------------	------------------	---------------

〔製造部門〕

モニター数109 回答数76 回収率70%

当月の状況

販売量	増加25% (19)	変わらず39% (29)	減少36% (27)
仕入量	増加24% (18)	変わらず40% (30)	減少36% (27)
販売価格	上昇 0% (0)	変わらず53% (40)	下降47% (35)
仕入価格	上昇 8% (6)	変わらず51% (38)	下降41% (31)

来月の見通し

販売量	増加23% (17)	変わらず53% (39)	減少24% (18)
仕入量	増加13% (10)	変わらず48% (36)	減少39% (29)
販売価格	上昇 4% (3)	変わらず80% (60)	下降16% (12)
仕入価格	上昇 9% (7)	変わらず67% (50)	下降24% (18)

3か月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米材	7% (2)	60% (18)	33% (10)
南洋材	15% (4)	66% (17)	19% (5)
北洋材	14% (4)	45% (13)	41% (12)
国産材	7% (4)	48% (29)	45% (27)

プレカットの動向

受注後、加工までの待ち時間	1ヵ月以内 82% (14)	1ヵ月 18% (3)	1ヵ月以上 0% (0)
---------------	-------------------	-----------------	------------------

全木協連の通常総会は午後三時五十分に開会。まず開会の辞を俊成副会長が述べ、続いて吉条会長が概略次の通り挨拶した。

「世界的な規模での景気後退の影響で、わが国においても輸出、生産、雇用のいずれの情勢も悪化が著しく、木材産業も需要の後退が深刻化している。先に決定された大型補正予算を活用することなどを通じて木材産業の再生に取り組んでほしい。全木協連の昨年度の事業はおおむね順調ではあったものの、引き続き厳しい状況にある。会員各位のご協力に感謝した

い。二十一年度も状況は厳しいが、都道府県木協連のご協力を得て実績を上げていきたい。補助事業については、新たに国産材への原料転換を行う場合の機械施設整備や長期運転資金に関する利子助成を行っていく。

来賓挨拶に立った島田泰助林野庁次長は「需要は落ちているが、国産材への追い風は吹きやんでいない。国産材のシェアはむしろ高まっている」と指摘し「他からシェアを奪い取るような気持ちで需要拡大に取り組んでほしい」と呼び掛けた。

議事は吉条会長が議長となって進め、①平成二十年事業報告承認の件②平成二十年収支決算及び剰余金処分案承認の件——については、事務局説明、阿部監事による監査報告を経て原案通り承認。

③平成二十一年度事業計画決定の件を事務局から説明の上、原案通り決定。④平成二十一年度賦課金決定の件⑤平成二十一年度借入金最高限度額決定の件⑦平成二十一年度役員報酬決定の件——については、一括で事務局が説明、質疑を経て原案通り決定した。

最後に坂東副会長が閉会の辞を述べて終了した。

林業・木材産業事業者の方々に必要な事業資金の債務保証を行います

お役に立ちます
林業・木材産業信用保証

私どもは昭和38年創立以来、林業・木材産業を専門に信用保証を行う公的機関です

- (対象業種)
- 造林・育林
- 素材生産
- 木材・木製品製造
- 薪炭生産
- 林業種苗生産
- きのこ生産
- 木材卸売



独立行政法人 農林漁業信用基金 (林業部門)

〒101-8506 東京都千代田区内神田1丁目1番12号 (コービル11階)
TEL 03(3294)5581 FAX 03(3294)5595 URL www.affcf.com